

■診療材料検討委員会

日常診療で用いられる輸液セット、各種チューブ・カニューレ等の診療材料に関して、安全性・使いやすさ・経済性などを考慮した上で検討する目的で、2004年9月に本委員会は設置されました。

2004年度には種類別に診療材料の再検討を行い、最終的には採用品目を356品目（約3分の1）まで絞り、診療材料の在庫を減らすことができました。

さらに2005年度からは、中央材料室にある在庫の大部分を北医企画に引き取っていただき、その管理を北医企画にお願いすることとなりました。従ってこの方式では、北医企画が中央材料室にある診療材料を所有し、各部署から請求された診療材料が中央材料室から持ち出された時点で当院が購入したこととなります。これにより病院所有の在庫がさらに減少し、より効率的な診療材料の管理が可能となりました。しかし一方で、時間外（夜間・休日）に必要な診療材料については、守衛さんと共に中央材料室に入り、請求者・材料名・個数等をノートに記入した上で持ち出さなければならないという不便も生じました。この方式はまだ始まったばかりですので、何か問題があれば運営方法について北医企画との間で調整をする必要があると思われま

す。また2006年度の診療報酬改定に伴って、再検討が必要な品目がありますので、今後も随時検討をすすめていきます。

文責 後藤 真彦